



上蛇駐在所

所の駐在所になる見込みだが、北海道駅前交番の開設については、引き続き要望していく。

運転免許証の返納の件は、交通事故件数が減少する中、高齢者が当事者となる事故の割合が増加し、事故の減少を図るため、運転免許証自主返納制度を広くお知らせしてゆく。

自主返納の特典制度の創設は、その恩典のみが強調され、返納を怠いだ余り無免許運転や処分を取り消しを要求してトラブルになったケースもあるとのこと、また、一時的な支援措置となるために、十分検討したい。

再質問 夜間の対応がで

くという答弁だったが、実際には駐在所を留守にすることのないよう泊まり勤務ということで夜間の治安体制の強化が図れないか。地元では根強い統合反対の意向だが、どうするのか。

テムである。駐在所が無くなった分はパトロールを充実させる。地元での統合反対の要望は警察に伝える。

道路事業の進捗状況と計画の見直しは

山本幹男 議員

○圏央道の開通の見直しについて

質問 圏央道については、神奈川県から千葉県木更津市まで約300kmを工事している。茨城県においては延長70・5km。境から北海道まで8.9km。聞くところによると平成24年に開通とのことである。昨年40億円からあった補助金が、26億円となり、昨年より非常に少ないことから、国の見直しは遅れるのではないかと心配である。平成24年までには出来あがらないとしても、どのくらいの年度に工事が終了し、開通となるのか聞きたい。

答弁 (都市建設部長) 圏央道(首都圏中央連絡自動車道)

は、都心から半径およそ40〜60kmの位置に計画された、延長約300kmの高規格幹線道路で、首都圏の広域的な幹線道路網を形成する首都圏3環状道路の、一番外側に位置する環状道路であり、各区間の開通目標を公表し、圏央道全体を平成27年までの約10年で全線開通を目標としている。

現在までの供用開始延長は、約107km。県内においては、約70・5kmの延長があり、内つくば中央ICから稲敷ICまでの23・8km区間が現在供用開始。残りの稲敷ICから千葉県境までの9.8kmとつくば中央ICから埼玉県境までの36・9kmは、平成24年度開通を

目標にしているが、ここ数年予算減少のため、開通目標が達成できるかは不透明。首都圏中央連絡自動車道建設促進期成同盟会及び道路整備促進期成同盟会等による要望活動を展開。市独自でも早期開通にむけて関係各所と連携を図りながら進めていきたい。

議員の名誉回復を目指して

水野 昇 議員

○広域農道・県道土浦坂東線の開通の見直しについて。○新たに開通する道路沿線の今後の開発構想について。



圏央道

○旧水海道市街地活性化、その波及効果について。

○議員の納税、滞納について 質問 A 議員の納税、滞納については、最近色々噂が流れて私も市民から聞かれるが、そういうことはないということをお前提で考えていたところ最近になって新たに情報があつた。滞納といつても固定資産税や保険税と色々あるので、何の滞納かはわからないけれどもそのような話が出ることは大変不名誉なことだと思

う。本人も本当は(税金を)納めているのにそのような

ことを言われたら、名誉回復のために早急に(市民に)知らせなければいけない。今日はその観点から、執行部としては答えられない部分もあるかもしれないが、私なりに尋ねる。

答弁 (総務部長) 滞納者の氏名や滞納額については、地方公務員法第34条第1項に、職務上知り得た秘密を漏らしてはならないとされており、その違反に対しては罰則が課されることになっている。また、「滞納者の氏